

第3回

下水道スタートアップチャレンジ ～下水道を通じたスマートシティの実現～

無料

下水道は言うまでもなく私たちの暮らしに不可欠なインフラであり、その機能をどのように維持し、また発展させていくか、智恵を絞り努力していくことが求められています。国土交通省は、異業種技術との連携による下水道の課題解決・付加価値向上を目指して、令和元年度より下水道関連企業と異業種企業とのマッチングイベント「下水道スタートアップチャレンジ」を開催しています。

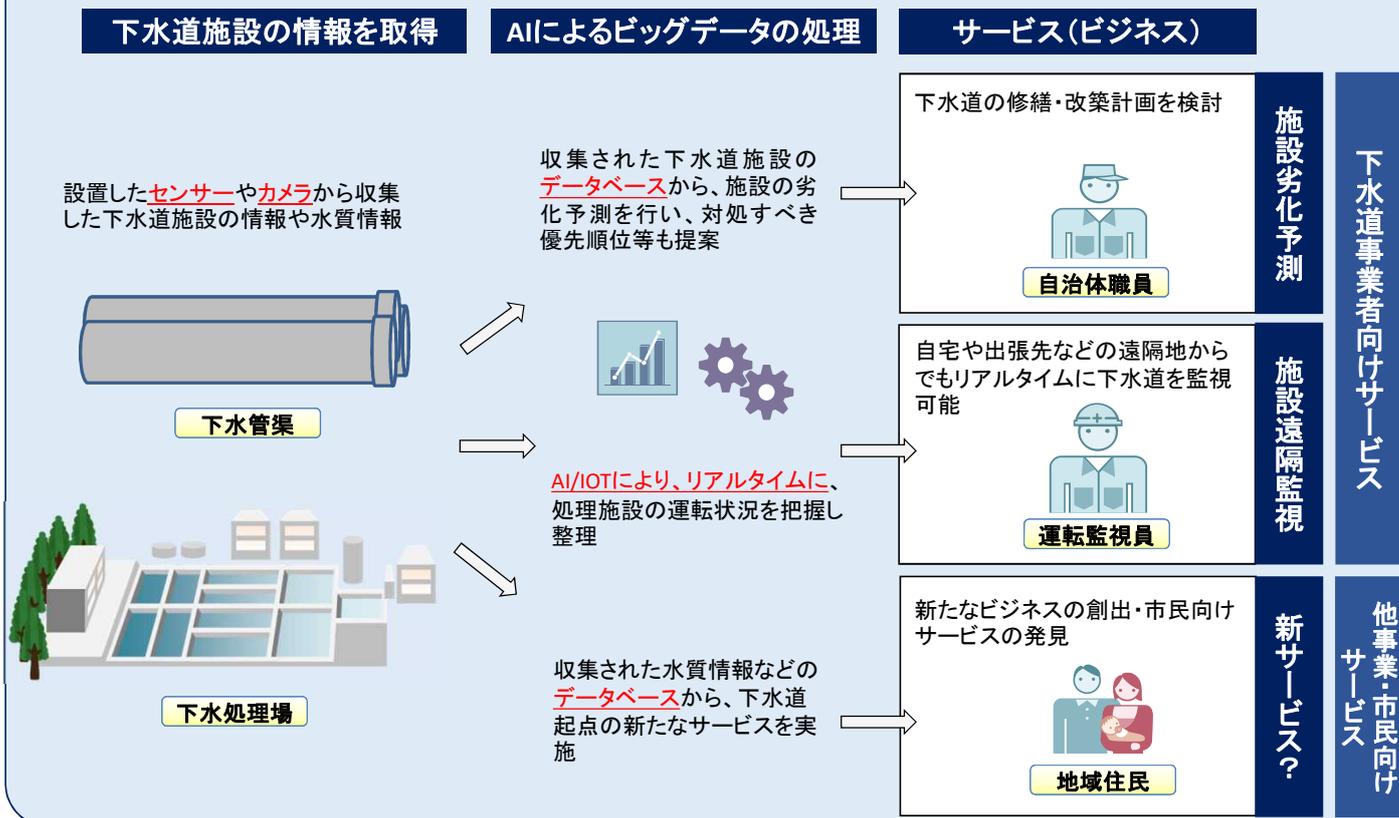
日時：令和2年9月8日（火）15時～17時（14時30分より閲覧可）

形式：ストリーミング動画配信

今回のイベントのテーマ：「下水道を通じたスマートシティの実現」

近年では、IoT（Internet of Things）、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータなど情報通信技術（ICT）をまちづくりに活かすスマートシティ実現の取り組みが増えており、新型コロナウイルスの拡大を受けたデジタル化の潮流のなかで、この機運は一層高まっていくことでしょう。

都市の一部である下水道も、このコンセプトと無関係ではありません。今回の下水道スタートアップチャレンジでは、これらの情報通信技術（ICT）を下水道にどう活用するか、また下水道情報を起点としてどのような新しいサービスが誕生するのか考えていきたいと思えます。



むらおかみぞうえ

主催：国土交通省水管理・国土保全局下水道部

協力：株式会社三菱総合研究所

開会（15:00～15:15）

- ・ 開会挨拶 国土交通省
- ・ 意見交換会開催の趣旨説明 三菱総合研究所

第1部 プレゼンテーション（15:15～15:45）

- ・ 下水道分野における実証事業の進め方紹介（仮） 株式会社ジャスト
- ・ 下水道中のウイルス情報を活用した感染症拡大予防について（仮） 仙台市

第2部 パネルディスカッション（15:45～16:55）

下水道分野にAIやオープンデータの技術を適用することでどのようなサービスが生まれるか、視聴者の皆様からのご意見（※）や第1部発表を踏まえつつ、パネリストの皆様にご議論いただきます。

（※）ご参加申込み時のフォームや当日の配信動画チャット欄にて、ご意見をお寄せいただけます。

閉会（16:55～17:00）

- ・ 閉会挨拶 国土交通省

○ 申込要領

申込用フォーム（<https://www.mri.co.jp/gesui-startup-3/>）よりお申込みのうえ、ご参加ください。自動返信にて、閲覧用サイトのURLとパスワードを送付します（事務局による参加人数把握の都合上、申込みされていない方へのURLの転送はご遠慮ください）。

- ・ 申込期間 令和2年8月17日（月）～9月7日（月）正午
- ・ 対象者 ①今回のテーマに興味がある方（IT業界企業など）
②下水道事業に関わる地方公共団体・企業の方々
- ・ 定員 900名（応募多数の場合は人数調整をお願いする場合があります。）

○ 参加対象者とメリット

下水道と接点のなかった他分野企業の皆様

- ・ 下水道分野におけるビジネスチャンスに気が付きを得られます。
- ・ 地方公共団体や下水道関連企業とのネットワークを形成できます。
- ・ 国土交通省が実施予定の実規模施設を用いた新技術実証事業等（右図参照）についてご案内させていただきます。

地方公共団体および下水道関連企業の皆様

- ・ これまで下水道と接点のなかった様々な他分野企業の方々と接点を見出し、新しい取組みのきっかけにすることができます。
- ・ 異業種技術とのマッチングにより現在抱えている課題の解決、新たな下水道サービスの開拓につながる可能性があります。
- ・ 異業種技術を活用した国土交通省の取り組みについて知ることができます。

下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）による新技術の全国展開

